

音 × AI のスペシャリスト

人工知能を活用して音を可視化する

【補足説明資料】異音検知プロダクト「FAST-D」×送水ポンプ保全の取り組み

2025年7月14日

- Hmcomm株式会社について
- 異音検知プラットフォーム「FAST-D」とは
- 「FAST-D モニタリングエディション」の大幅アップデートを発表
(2025.6.24)
- 水道産業新聞に紹介された手法の3つのポイント
- 免責事項



会社名	Hm c o mm株式会社（エイチエムコム）
------------	------------------------

上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：265A）
-------------	---------------------------

設立	2012年07月24日
-----------	-------------

代表者	代表取締役社長CEO 三本 幸司
------------	------------------

事業内容	音声認識処理、異音検知・自然言語解析処理を用いたプラットフォームの提供 情報技術（IT）、人工知能、ロボット工学などの音に関するサイバニクス事業の推進
-------------	--

所在地	東京都港区芝大門2-11-1 富士ビル 2階
------------	------------------------

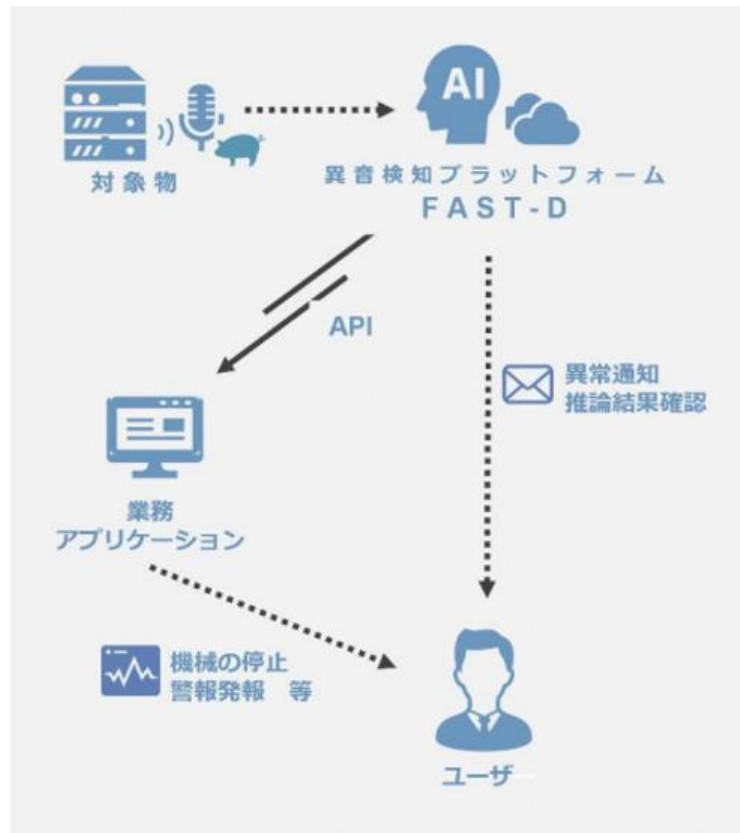
異音検知プラットフォーム「FAST-D」とは

FAST-D (Flexible Anomaly Sound Training and Detection, <https://fast-d.hmcom.co.jp/>) は、異音検知 AI の導入を驚くほど簡単にするクラウド型プラットフォームです。

あらかじめ用意された業界別・機器別の「標準学習モデル」により、早期に導入可能。スモールスタートからスケールアップまで柔軟に対応できます。

また、お客様固有の設備や現場環境に最適化された AI モデルを開発する PoC (実証実験) サービスもご用意。

多数の導入実績と高い検知精度により、予防保全や異常検知の高度化を実現する新たな社会インフラとして、製造業・インフラ・鉄道・自治体を中心に急速に普及が進んでいます。





モニタリングエディション アップデート概要

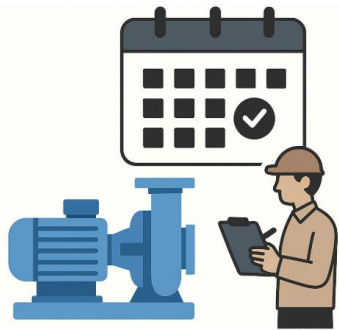
【AIモデル自動最適化・長期トレンド分析機能等を搭載】

- ① 異常音のトレンド可視化機能を新搭載
過去の異常検知履歴を自動で蓄積・グラフ化し、
長期傾向の分析が可能に。
異常兆候の早期発見と予防保全に貢献します。
- ② AI モデル自動最適化機能
現場の環境ノイズに応じて、ユーザーにてAI モデルを学習・
再調整できる機能を搭載。保守現場の負担を大幅に軽減します。
- ③ UI/UX の全面刷新
直感的な操作を実現するインターフェースを再設計。
初めてのユーザーでもスムーズに導入可能です。
- ④ 処理速度・安定性の飛躍的向上
最大 60%の処理時間短縮（当社比）。
クラウド連携による安定性も大幅強化しました。



【ポイント1：FAST-Dによる稼働音の外れ値検知】

- ・ ポンプが発する稼働音を24時間体制でモニタリングし、AIモデルによる外れ値検知技術を活用することで、わずかな音の変化から異常の兆候を早期に把握します。
- ・ これにより、遠隔地や通常の目視点検では確認が難しい状態変化も把握でき、保全担当者へリアルタイムで自動通知されることで、迅速な現場対応が可能になります。
- ・ 突発的な故障を未然に防ぐだけでなく、ダウンタイムの削減や安全性の向上にも寄与します。



【ポイント2：オーバーホール（OH）時期の最適化】

- ・ 重要な大型ポンプのOH（オーバーホール）費用は、1台あたり数百万円以上かかることが一般的で、従来は年数に基づく定期的な分解点検が求められてきました。
- ・ しかし、実際の稼働データとコンディションに基づいて最適なメンテナンス計画を策定することで、不要な点検や過剰な部品交換を抑制し、費用対効果を大幅に向上させることが可能です。
- ・ また、計画的な補修により安全性を確保しつつ、設備の長寿命化と持続的な安定稼働を実現します。



【ポイント3：将来的な漏水検知への応用】

- ・ Hmcommの高度な音響AI技術は、ポンプだけでなく水道管の漏水検知にも展開可能です。
- ・ ポンプの異常監視と管路の漏水監視を組み合わせることで、インフラ全体の状態を総合的に把握する「トータルソリューション」を構築し、維持管理コスト削減や緊急対応リスクの低減に貢献します。
- ・ 将来的には、全国の水道インフラ保全を支える新しいスタンダードの実現を目指します。

- 本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。
- 本資料には、いわゆる「将来の見通し（forward-looking statements）」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。
- なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づいてこれを更新または修正する義務を負うものではありません。

